

5月14日、長島町鷹巣運動場で長島町消防団結団式が行われました。式典には、消防団員のほか地域役員ら約400人が出席し、新しく発足した長島町消防団の誕生を祝いました。

式典で川添健町長は「住民の期待に応えられるよう、新町消防団として新たな伝統を築いてください」と団員を激励。続いて町長から諏訪義則初代長島町消防団長へ団旗が授与され、団長から11の各分団長へ分団旗が手渡されました。

最後に、団員の先頭に立った諏訪団長は「迅速かつ適切な対応を取るため、訓練と啓発に努力し、地域住民の期待に応えられるよう精進していきます」と気持ちを引き締め、今後の消防団の活躍を誓いました。

旧両町の消防団は、県操法大会などで好成績をおさめるなど、立派な伝統を築いてきました。新町消防団は、お互いの良い伝統を生かしながら、町の安全のために尽力されることが期待されます。



300人を超える消防团组织が結成されました

## 長島町消防団結団式

# 旧両町の伝統を引き継ぎ、新たな組織が誕生

合併に伴い、新町の消防団が結成されました。11分団32班の総勢335人が長島町の新たな消防団員として任命されました。

### 消防団とは

消防団の活動には、主に次の活動があります。

- ・火災が発生したときに、消火活動をします。
- ・自然災害が発生したときの救出活動をします。
- ・その他、行方不明者捜索のよきな警察活動にも協力しています。

消防団とは、郷土愛護の精神に基づき、昼夜を問わず地域住民の生活を守るために活動している方々です。

**消防団員と消防署員の違い**

消防団と消防署はともに国民の生命、身体、財産を守るという任務のもとで活動する点においては基本的に大きな違いはありません。

消防署員は災害現場活動の他に消火器や火災報知機のような消防設備の設置指導やガソリンや灯油といった危険物の規制などの予防活動等で住民を守る専門家です。消防団は普段は仕事に携わり

ながらも災害時には駆けつけて現場活動を行うとともに、地区内の巡回や家庭内防火指導を行う地域に密着した防災のリーダーです。

### 消防団員の身分

ボランティアで結成されている消防団ですが、その作業の特殊性から特別職の地方公務員となります。

### 消防団の訓練

消防団に入団すると新入団員講習を行い『敬礼』や『気をつけ』、『右へならえ』等の訓練札式を身に付けます。消防団操法ではホースの延長・放水要領といった内容を訓練します。

### 消防団の歴史

消防団の原型ができたのは江戸時代、江戸の町の有志で募った町火消まちひけしが起こりとされています。その頃の消火方法は隣接した建物を壊して延焼を防ぐ破壊消防が取られていました。そのため、建物の構造に熟知した大工やとび職といった方々で構成されていました。



↑団員を前に敬礼する町長



↑新消防団の幹部



↑町内の消防車が集結